

自転車専用レーンを 御堂筋で愛好家らアピール



御堂筋をアピール走行する参加者＝20日午前、大阪市北区

自転車の走行環境の整備を訴えるイベント「御堂筋サイクルピクニック」が20日、大阪市北区の中之島公園をメイン会場に開かれた。自転車愛好家らは市内の中心部を軽快に走行しながら自転車専用レーンの必要性や運転マナーの重要性

をアピールしていた。自転車文化タウンづくりの会などが主催。自転車の適正な利用の啓発と、大阪のメインストリート・御堂筋での自転車レーンの設置を求めて2011年から年2回開いている。アピール走行には、約200人が参加。一

般的なタイプの自転車のほか、クロスバイクや2人乗りのタンDEMなど「愛車」にまたがり、一列になって御堂筋と堺筋の大通りを走らした。会場では子ども向けの自転車教室や交通ルールクイズも行われた。

ことし6月に改正された道路交通法では、自転車にも罰則を規定。同会の井上守副代表は「自転車と都市計画は避けては通れない問題。自転車の在り方を広い意味で考えられるよう、取り組みを前に進めていきたい」と話していた。